

# 平成27年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	葦政クラブ
出 席 者	一木長博、清水一、野口紘明、西野賢一、宮川文憲、高添秀明、浅川裕康
事 業 名	地域貢献みまもり事業
事 業 区 分	①研究研修 ②調査

## 1 葦崎市での課題と研修・調査の目的

葦崎市の人口減・高齢化は、喫緊の課題である。寝たきり高齢者、認知症患者、独居老人等の見守り対象者数も今後さらに増加していくことが予想される。このような課題に対して、行政単独での対応は困難である。輪島市が行う官民共同による見守り事業を研修し、葦崎市への活用を図ることができるか調査研究する。

## 2 実施概要

実 施 日 時	視察先	石川県輪島市
平成27年 7月13日(月) 13:00~15:00	担当部局	福祉環境部健康推進課
報 告 内 容	<p><b>1. 輪島市の概要</b></p> <p>輪島市は、能登半島の北端に位置し、中世から近世にかけて、日本海沿岸の代表的な港町として栄えてきた。また、北前船を所有する廻船問屋の繁栄によって、全国的に「輪島塗」が知られるところとなり、近年では、NHK 連続テレビ小説「まれ」の舞台としても有名である。</p> <p>人口は約2万9千人、面積は約426㎢であり、北と西を日本海に囲まれ、東を珠洲市と能登町、南を穴水町と志賀町と、1市3町に隣接している。北と西の日本海海岸線は81.8kmに及び、能登半島国定公園となっている。</p> <p>「輪島塗」「輪島の朝市」などをはじめとした観光資源に恵まれ、本年3月の北陸新幹線の開通によるアクセスの利便性向上のほか、先に触れたNHK連続テレビ小説「まれ」の舞台となったことから、多くの観光客が訪れるようになっている。</p> <p><b>2. 輪島市の課題と取組み</b></p> <p>輪島市の高齢化率は深刻な問題となっており、平成27年4月現在における高齢化率は41.5%（石川県平均高齢化率26.3%）である。また、平成19年3月に発生した能登半島地震では、多くの被災者そして住居被害が発生した。これらの課題、教訓から輪島市は、高齢者など要配慮者対策の実施・充実に向けた取組として、重層的な見守り体制の構築を図ることとし、有事における市民の安心安全のため減災対策を強化推進している。</p>	

## 1. 研修内容

今回、我々が研修した主な内容は、重層的な見守り体制の一事業である「地域貢献見守り事業」である。当該事業のポイントは、「民間事業者と市の協働による試み」という点である。

事業者は市との間で協定を結び、配達や集金等の通常業務の中で「異変察知」時に市へ連絡することとなっている。ポイントは「異変察知」としている点である。つまり、通常業務の中で、普段の日常とは何かが違うと感じたら、連絡を行うのである。これにより、高齢者に限らず、あらゆる年代層の市民を見守ることが可能となり、また防犯にも役立つこととなっている。市は、職員が1週間交代で当番となり、常時緊急用携帯電話を所持することで、24時間いつでも連絡が取れる体制を取ることとしている。

事業実績としては、平成22年5月の事業スタート時には27者であった事業者が、毎年10者と協定を結び、平成26年度末現在で締結事業者は74者となっている。新聞業者、牛乳販売業者、ガス業者、移動販売スーパー、金融業者、行商などその業種は多岐にわたっている。また、5年間で20件の「異変察知」の連絡を受け、このうち7件が人命救助に繋がったとのことである。

## 2. 運営状況

今回の研修においては、輪島市担当者から事業の細部に至るまで丁寧な説明を受けさせていただいたことから、事業に対する理解が進み、「震災以外にも民間事業者が締結に至った要因があるのか」「事業を進めていく中で、情報保護の問題などトラブルは生じなかったか」など数多くの質問が投げかけられ、忌憚ない意見交換、活発な議論のやり取りが交わされる非常に良い勉強の場となった。



## 3. 考察(これらの取り組みを蕪崎市にどう活かせるか)

我が蕪崎市においても、高齢化率は上昇の一途をたどっており、輪島市に近い状況が生ずることが予想される。今後の蕪崎市にあっては行政単独での見守りは困難であり、官民協働の見守り体制の構築が必要となってくるだろう。輪島市のような震災という要因はないとしても、積極的に民間事業者に働きかけを行い、意識啓発に取り組んでいく必要がある。輪島市をモデルとして、蕪崎市民全員が一致団結して見守りを行っていく、官民協働の蕪崎スタイルを模索していきたい。